

小山市事務事業評価シート

平成30年度版

No. 42

1. 基本情報							
<1> 事業・業務名		粟宮新都心第一地区土地区画整理事業			<2> 事業・業務の別		事業
<3> 選定基準		③ 平成29～30年度総合計画実施計画の計上事業			<4> 継続評価・新規評価の別		新規評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり			<6> 担当部(局)		都市整備部
	中項目	5-3 みんなの暮らしを支える生活基盤整備			<7> 担当所属		区画整理課
	小項目	5-3-1 市街地整備			<8> 担当係等		恵川西部・粟宮地区指導係
	施策	土地区画整理事業の推進					
<9> 根拠法令・計画等		都市計画法・土地区画整理法・土地区画整理事業助成規則		<10> 関連・類似事業			
<11> 会計		一般 会計		<12> 予算科目		8 款 4 項 2 目	
<13> 実施期間		26 年度 ～ 30 年度		<14> 全体事業費		123,304 千円	
<15> 実施手法		全部委託		「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -									
<16> 事業・業務の概要		大字粟宮・大字千駄塚地内の約20ヘクタールの地区において組合施行による土地区画整理事業を行う。							
目的	<17> 事業・業務の目的	組合設立の認可を得る 区画整理事業により住みよいまちをつくる、良好な宅地を生み出す、定住人口を増加させる							
	<18> 事業・業務の対象	小山市粟宮新都心第一土地区画整理組合設立準備会 小山市粟宮新都心第一土地区画整理組合、地権者							
手段	<19> 平成29年度の活動内容	区画整理専門コンサルタントを派遣する 区画整理事業の計画を作成する 地区界測量を実施する							
	<20> 活動指標 (アウトプット)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		準備会の開催	回	6	7	12	12	100.0%	
	全体説明会の開催	回	1	1	1	1	100.0%		
成果	<21> 事業・業務の成果	区画整理事業を計画するうえで関係する地権者に説明を行い、理解してもらう。							
	<22> 成果指標 (アウトカム)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		地区界立会確認書の提出率	%	—	—	100	91	91.0%	
	協議を始める関係機関の数	%	—	—	14	3	21.4%		
コスト ～資源の投入量	<23> 投入指標 (インプット)	区分	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		コスト	千円	15,772	14,822	45,756	45,738	100.0%	
		事業費等	千円	10,000	9,050	40,000	39,982	100.0%	
		財源内訳	国・県補助金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	10,000	9,050	40,000	39,982	100.0%
人件費	千円	5,772	5,772	5,756	5,756	100.0%			
	正職員	千円 × 人役	7,214 × 0.8	7,214 × 0.8	7,195 × 0.8	7,195 × 0.8			
	他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 目的・対象の妥当性	1.妥当である	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の目的が総合計画等の目的と整合しており、貢献するものであるため妥当と判断した。 ・区画整理事業という特殊な事業に対し、多くのノウハウを有するコンサルを派遣することで目的の実現性が高まることから妥当と判断した。 ・土地区画整理法において市町村の支援が規定されており妥当と判断した。
		<25> 手段や実施手法の妥当性	1.妥当である		
	有効性	<26> 成果の向上余地	2.向上の余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・成果に遅れが生じているので、準備会、コンサル、市とで関係者に対しよりきめ細かい対応が必要であると感じた。
	効率性	<27> 事業費や人件費の削減余地	1.削減の余地なし	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・専門コンサル派遣に関する業務については競争入札に付して選定しており事業費の削減の余地はない。
	公平性	<28> 受益者負担の適正化余地	1.適正	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業の準備段階と実施段階とを一つと考えると、区画整理事業が実現すれば応分の負担(減歩)が発生するため受益者の負担は適正と判断した。
<29>総合評価		2.改善の余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> 妥当性、効率性、公平性は妥当であるが、有効性について成果を向上させる手立てを考える必要があるため。 	

4. Action - 改善 -

事業の改善	<30> 事業の課題 事業の改善点 今後の進め方等	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会、コンサル、市とで組合設立に向けた作業を進めているが、地権者に地区界測量の立会い等の協力を得られない事態が生じている。 ・三者の連携を更に強化して課題の解決に取り組む。 			
事業の方向性	<31> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由	<ul style="list-style-type: none"> 栗宮新都心第一土地区画整理事業は、今年度都市計画決定を予定しており、計画的な都市基盤整備を実施していかなければならず事業の実現のため継続した支援が必要である。今後も組合設立に遅れが生じないように進行管理を実施しながら事業を推進していく。
	<32> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由	<ul style="list-style-type: none"> 栗宮新都心第一土地区画整理事業は市総合計画の重点施策に位置づけられており、土地区画整理事業による計画的なまちづくりを実現することにより定住人口の増加、あるいは栗宮新都心構想の実現につながる事業となることから、それらを実現させるため継続した支援が必要である。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<33>実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・業務代行予定者の選定 ・関係機関との協議 ・事業計画書、定款の作成 ・同意書のとりまとめ 	<35>コスト	区分	単位	平成30年度	平成31年度
					計画	計画	
				コスト	千円	55,756	0
	<34>活動・成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会を組合にする 		事業費等	千円	50,000	0
			人件費	千円	5,756	0	